

私がこの留学を希望したのは、語学力の上達には環境が重要であるという考えを持っていたからである。そして、私はアメリカの地で生活してはっきりとそれを実感した。英語圏の人々による本物の英会話を聞く機会が多くなったのはもちろんのこと、自分から英語で話しかける機会に恵まれていることが非常に大きく作用している。書籍、音楽、映像および自主学習で英語知識を得るよりも、会話やチャット、電子メール等での、英語を使った意思疎通を通じることで、重要な成句や単語を学ぶことがしばしばあった。

ロチェスター工科大学には自分の他にも多くの留学生が在学しており、私は多くの留学生たちと出会うことができた。大学課程を受ける準備のために英語学習をする者から、正規の学生として授業を受けている者まで、一通りの境遇にある学生と話す機会に恵まれた。そのなかでも、英語能力が十分に備わっている学生たちは、英語に囲まれた環境下にしばらくいたことが共通している。米国人と同様に大学課程を履修している留学生の多くは、少なくとも米国の高校へ一年以上の留学経験者であり、おおよそ米国の高校課程を修了した学生がほとんどである。日本人留学生の場合では、インターナショナルスクールの出身者が少ない。また、比較的容易に入学可能な短期大学から、本大学へ編入した生徒も留学生だけにかかわらず多い。そういった事情を知るにしたがって、ネイティブスピーカーと話す機会をできるだけ増やすことを、私の課題の一つとして決めた。

本大学での生活を通じ、数多くの友人を持つことができたが、私が日本人であることが有効に作用した場面が多々ある。日本の歌、映画、テレビ番組、漫画等は、米国のみならずアジアからヨーロッパまで多くの国からの留学生たちの関心を集めている。自分が観たことがある作品について、日本人の私がどういった感想を持っているか、また、自分が好きな日本の歌手が、今どのような活躍をしているか、果ては、数日前に放送された日本のテレビ番組を観たいために私に手を貸して欲しいなど、私が海外に関心を持つ以上に日本が注目されていることに非常に驚かされた。

特に、私に多少なりとも英語能力がある以上、日本語を一つの特技として扱うことが可能だった。自分が日本人であることや日本語をできるだけ避けて生活することも、英語圏に溶け込む上での一つの手段であるとも思えるが、私はむしろ日本語を使う機会を積極的に活用することで、学生たちとの交流の機会を増やすことに成功した。

本学の日本語の授業では、日本人留学生がネイティブスピーカーとして招かれることがあるため、私は進んでそれに参加した。リスニング試験に使われる文章を学生たちの前で読み上げることから、学生たちの日本語会話の練習相手になること、また、上級の日本語クラスでは日本の特徴について討論することまで、貴重な体験をすることができた。そういった授業を通じて出会った学生たちとは、授業以外の場でも日本語に関係が無いことでも会話をするのがたびたびある。趣味が合う学生やよく付き合いがある学生たちとは、一緒にスポーツや映画鑑賞等をすることもある。

RITにはJapanese Conversation Tableという日本語同好会のようなものがある。私はそれにも頻繁に参加している。この会では単純に参加者たちと日本語会話をすることが目的であるが、私にとっては英語のネイティブスピーカーたちとの英会話が目的の一つでもある。日本語や日本に関する疑問について、自分なりの回答を英語ですることが、同時に私の英語能力を確かめる好い機会にもなった。また、そこでは日本の生活を経験したことがある学生や、金沢工業大学へ交換留学に行ったことがある学生、アメリカ生まれの日本人とも話をすることができ、自分が期待していた以上に米国を身近に感じることができた。

私が英語能力向上のために留学を希望した際に、このロチェスター工科大学へ来ることができたことは、非常な幸運だったと思う。実際のところ、私の英語を改善する余地は、残された一ヶ月間で埋めるには未だ大きいままであると感じられるが、この貴重な機会を大切に生かしてゆく心境である。